

平成 19 年度第 9 回大磯町教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成 19 年 12 月 19 日 (水)
開会時間 午前 9 時 30 分
閉会時間 午前 10 時 28 分
2. 場 所 大磯町役場 4 階第 1 会議室
3. 出席者 石 塚 洋 委員長
清 田 義 弘 委員長職務代理者
澤 愛 子 委員
原 田 義 彦 委員
福 島 睦 恵 教育長
二挺木 洋 二 教育次長
簗 島 信 雄 学校教育課長
竹 内 浩 教育指導担当主幹
福 島 伸 芳 生涯学習課長兼郷土資料館長
戸 村 豊 茂 図書館長
長 岡 克 昌 学校教育課副主幹
4. 傍聴者 1 名

(開 会)

出席委員が 5 名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により定例会は成立し、大磯町教育委員会会議規則第 14 条及び第 19 条の規定により傍聴を許可。暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(前回会議録等の承認)

委員長より前回会議録の項目を読み上げ、出席委員全員の承認を得る。

教育長報告

教育長) 私からは、前回定例会が開催されました平成 19 年 11 月 21 日から本日まで
での教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

11 月 23 日の勤労感謝の日におおいそ学園において、「収穫祭」が開催され、保護者や地域の方々約 400 名が来場されました。

11 月 26 日には、文化祭運営委員会が開催され、来年度の開催方法について審議され、滄浪閣が借用できなくなることから、分散方式で実施していくということで決定いたしました。

同日、県平塚合同庁舎において開催された中区教育長会議に出席いたしま

した。

12月4日から14日まで、議会12月定例会が開かれました。内容につきましては、後ほど事務局より報告いたします。

12月5日、社会教育委員会議が開催され、生沢プールの休止について報告いたしました。

12月10日、県教育委員会優良教職員表彰伝達式を行いました。今年度の該当者は、5名でありました。

12月13日、14日、15日と各幼稚園で保育発表会が行われました。教育委員の皆様には、御観覧いただき厚く御礼申し上げます。

諸行事の報告につきましては、以上でございます。その他報告事項につきましては、後ほど事務局から報告いたします。

報告事項第1号 平成19年度大磯町議会12月定例会について

教育次長) 12月4日から14日までの議会12月定例会につきまして、報告させていただきます。12月4日には一般会計予算及びその他特別会計の補正予算のほかに6議案が上程されました。お手元の資料にあります補正予算につきまして報告いたします。

教育委員会関係の補正予算は、国府小学校の浄化槽ポンプの修繕、学校給食調理員の臨時雇賃金、国府中学校の給湯室換気扇の修繕、全国バレーボール大会の補助金、幼稚園教諭の産休等に伴う臨時雇賃金の5本が出ております。

その中で質問は3名の方から出ておまして、幼稚園教諭の臨時雇賃金について、理由は何かという質問がありまして、私の方から小磯幼稚園教諭の産休・育児休業による代替職員の賃金の増であるという説明をいたしました。

学校施設修繕の内容はという質問がありましたので、私の方から国府小学校の浄化槽ポンプの修繕。2基のうち1基が作動していないので、その1基を速やかに直したいということ。また、国府中学校については、給湯室の換気扇が壊れているので取替えをしたいという説明をしております。

再質問で修繕についての考え方について質問がありまして、今まで予備費で修繕の対応をしていましたが、20年度予算要求にあたっては、ある程度掴みの予算を町の方には要望しているという説明をいたしました。

部活動補助金については9月にも出ましたが、保護者への立替払いにはならないかという質問がありましたが、これにつきましては大会が12月24日から始まるということで、今回補正予算で対応して、大会前に保護者の負担のないようにしたいと説明いたしました。補正予算については以上の質問がありました。

続きまして、次の資料で4人の方から一般質問がありましたので報告いたします。

2ページの山口陽一議員から東海大病院の計画の関係で月京幼稚園の新

築進捗状況はどうなっているのかという質問で、私の方から都市計画法の改正により県との事務手続きに時間を要しているという説明をしております。

4 ページ竹内恵美子議員から5点の質問がありまして、まず第1点目に少人数学級編制の導入についての質問がありまして、教育長の方から小1プロブレムと言われる小学校入学後の諸問題に対応するため、教育委員会としては20年度から1年生において少人数学級編制を導入したいという回答をしております。

再質問で、実施方法、経費、補助金についてという質問がありましたので、私の方から神奈川県公立小中学校少人数学級研究実施要領に基づき35人学級編制で行いたい。教師については、少人数指導、TTで配当されている教員を担任にし、その補充を臨時講師を雇っていきたいという回答をしております。経費については、1人年260万円。補助金はなく町の単独でやるという回答をしております。

再々質問で来年度以降はやっていくのか。また30人はどうかという質問がありましたが、来年度以降については、あくまでも研究ということになりますので、1年間の評価をみてからということに回答しております。30人学級については、県の要領で実施は35人となっておりますので、その要領に基づいて、20年度は35人でやっていきたいということに回答しております。

2点目の月京幼稚園整備の進捗状況はという質問でございますが、これにつきましては、教育長より4月より地権者との交渉、県との法改正に伴う協議をしているという回答をしております。

再質問で今年度の予定はという質問がございましたので、私の方から県の開発審査会の許可が必要なので、測量調査、地質調査、基本設計を現在発注して、また平行して地権者との交渉を行っている状況を説明しております。

再々質問で予定どおりに21年度に完成するかという質問がございましたが、私の方から県の審査会が順調にいても3月頃の許可になるので、そうすると、その時点で許可が出ても、土地の売買については来年度に入ってしまう可能性がある。そうすると実施設計についても来年度予定ということで、建築については21年度建築ということで、当初計画より1年遅れとなるのではないかと回答をしております。

3点目の国府中学校等の整備はという質問でございますが、教育長の方から国府中学校校舎は21年度に整備をし、国府中グラウンドと国府幼稚園については22年度という計画でしたが、教育委員会としては1年早めたいという回答をしております。

再質問で国府中学校の校舎は1年遅れとなっているので早く改修をという質問がございましたが、私から校舎については、予定通り21年度の工事を予定していると回答をしております。

続いて4点目のいじめ不登校等の現状・対策についての質問がございましたが、教育長の方から、いじめについては中学校で昨年より増加しているが、

いじめの定義が変更されたことによるものと考え。全国的に多くなっている。不登校は小中学校ほぼ横ばいであるという状況を報告しております。

再質問で学校ではどういう対策をとっているのかという質問がありましたので、教育長の方からスクールカウンセラー等を配置し問題の未然防止、早期対応している。不登校については適応指導教室を開設し学校復帰のサポートをしているという回答をしております。

再々質問で二宮町や平塚市で様々な取り組みをしているが、大磯町としてはどうかという質問がありましたので、教育長の方から保護者やボランティアの協力を頂き開かれた学校づくりや地域との懇談会を設け、情報を共有し、子どもたちの成長を支えているという回答をしております。

5点目、食育についての質問がありまして、教育長の方から学校給食法の改正の動きがあり、主要目的が栄養指導から食育に転換されるという報道があった。食に関する指導については既に取り組んでいるが今後さらに地域と連携して充実していきたいという回答をしております。

再質問では地元の食材をとという質問がありましたが、教育長の方からできるだけ取り入れていきたいという回答をしております。

再々質問で月京幼稚園について食育のできるようなことを考えたらどうかという質問がありましたので、私の方から県との協議の中でもそういう食育に対することもやっていきたい考えがあると回答しております。

翌12月12日は、鈴木議員から町立幼稚園の民営化についての質問が出ております。これは町長の方から4園体制を維持していきたい。民間に一旦を担ってもらおう考えを持っている。民間との切磋琢磨による質の向上が期待できるので、民間にもお願いをしたいという回答をしております。教育長の方から平成18年度に決定された教育委員会の方針に従って、園児数の推移を見極めて、平成22年度以降に統合をすることとしているという今までの教育委員会の方針を説明しております。

再質問で保育園とは違い、私立になると保育料が高くなるがどう考えているか。住民に削減額等の説明、周知の考えはあるのかという質問がありましたが、町長から私立の保育料については、考えて行く。説明会についても充分していくという回答をしております。

再々質問で10月の入園説明会で小磯幼稚園の保護者に説明したかという質問がありましたので、私の方から小磯幼稚園の説明会では、22年度に大磯幼稚園に移ることになるかもしれないというようなことを口頭で説明したという回答をしております。

柴崎議員の2点目の副町長に関することで、関連で質問がございまして、湘南国際マラソンの件で、なぜ教育委員会の職員を連れて会議に行くのか。運営等について問題があるという質問がありまして、町長の方から湘南国際マラソンを地域活性化、スポーツ振興、環境面等の点から“大磯を元気に”を実現できればということで町として協力していきたいということで回答しております。

4点目、小学校の給食費の徴収に問題はないかという質問がありました。これについては、給食費の未納対策に課題があると町長から回答しており

ます。

再質問で小学校の給食費は、子どもと先生が同じ値段であるのはおかしいというご意見がありました。

坂田議員からは、湘南国際マラソンについての質問がありまして、町長の方から第2回大会は大磯プリンスホテルをスタート・ゴールとして開催されることになり、経済効果も見込まれ、町おこしの一つとなる。各団体等の関わりにより地域の活性化、町民スポーツの振興が図られることを期待するという答弁をしております。また教育長の方から教育委員会としても本大会の中心が大磯町になることから、スポーツ振興の良い機会と捉え、できる限りの支援協力をしていきたいという回答をしております。また特に再質問はありませんでした。

続きまして4点目の横溝氏の教育基金に対する大磯町の取り組みについてということで、教育長の方から基金による事業の説明で、表彰制度、奨学金制度、横溝塾、教育研究制度ということで、対象者に大磯町の子どもたちも含まれ、感謝しているという答弁をしております。

再質問で現在は、横溝氏に対して町としてどのような関わりをという質問がありまして、町長の方から横溝氏から、子育て支援にという話があるという回答をしております。以上が12月定例会の報告でございます。

(質疑応答)

原田委員) 資料の2ページ目、12月補正予算抜粋があり、歳出の部の3番目の学校給食費、補正前の額66,100千円、補正額616千円、計が63,012千円となっておりますが、減額になっているということでしょうか。

教育次長) これは正規の職員が辞められた分が減額になって、臨時の分が616千円増となりまして、差し引きでは減になるということです。

原田委員) これだと分かりにくいので、人件費の方も合わせて記載して頂きたいと思います。

教育次長) 人件費の方は総務課で補正予算を出しておりますので、これからこういうことがありましたら、記載方法を考えさせていただきます。

清田委員) 学校管理費についても合計すると数字が違うのですが、これもどこかで減額されているのですか。中学校費の学校管理費についても合計が違うのですが、どうなのでしょう。

学校教育課長) 小学校の学校管理費につきましても学校の校務整備員の人件費が入っております。これは総務課の方で一括して給料の人件費が増減をしておりますので、そちらの記載がされておきませんので、減になっているということでございます。

委員長) 竹内議員の関連で、いじめの話が出ております。私に非公式で人権擁護委員の方から話がありましたので、報告しておきます。今月、人権擁護委員の常任委員会が開かれました。大磯町の小中学校の児童生徒に対して法務省から悩みのミニレターというものが出されているということですが、人権擁護委員の常任委員会で話題になったのは大磯地区では1件もないとい

うことで、何も悩みがないのかという話題になったということです。

このミニレターは横浜地方法務局と神奈川県人権擁護委員会連合会という名前で、大磯の場合は教育委員会を通じて各小中学校に配布されている。1件もないのはありがたい話ではあるが、本当はないのかという心配がありました。教育委員会の方で、色々な公表データがありますね。いじめの問題も前回報告された、そういったデータを人権擁護委員の方にも出すのが許されるのなら、そうしたほうが人権擁護委員としても、教育委員会筋からこういったデータを貰っており、従って大磯町の子どもたちはこういう状況なのだということで、安心までとはいかないにしても、情報の交換ができることによって、かなり子どもたちの支援体制がより活性化されるのではないかと思います。その点、事務局としてどう考えていますか。

学校教育課長) 子どもたちのいじめの指導については、保護司会等からもご心配頂いたりして、そういった連絡調整会議もありました。人権擁護委員につきましては、そのメンバーには加わっていないということですが、子どもたちのご心配を頂いているということであれば、そういうデータを差し上げて町の状況、学校での取り組みの状況等をお知らせしていきたいと思えます。

報告事項第2号 平成19年度成人式及び成人式記念のつどいの開催について

生涯学習課長) 報告事項第2号平成19年度大磯町成人式及び成人式記念のつどい開催につきまして、報告いたします。

本件につきましては、従来より企画、運営等を新成人者で組織する実行委員会方式で、今年度は、13名の委員をもって行っております。

今回、ご覧の開催要領のとおりおおむね内容等が決定いたしましたので、ご報告いたします。始めに、開催日時につきましては、成人の日として、平成20年1月14日、月曜日、午後1時30分から午後3時30分までとなります。会場につきましては、昨年と同様、大磯プリンスホテル国際会議場となり、主催は大磯町及び大磯町教育委員会でございます。

今年度、新成人の該当の方は、昭和62年4月2日生まれから昭和63年4月1日生まれの方で、12月12日現在、340名となっております。

続きまして、構成につきましては、前半は新成人を祝う式典となっております。主催側の挨拶と来賓代表の大磯町議会議長の挨拶という構成となっております。後半は、実行委員会での進行、運営等を行う成人式記念のつどいとなり、ティーパーティー形式で、構成につきましては、記載のとおりで、昨年度と同様の構成でございます。

なお、今年度より大磯町青少年指導員連絡協議会の協力を得て、受付、会場内外の整理などにあたることになっております。以上でございます。

(質疑応答)

清田委員) 実行委員長が工藤さんという方なのですが、実行委員長については応募か何かで決めるのですか。

生涯学習課長) 応募であると集まらないということもあり、学校経由で先生方をお願いして、当時の該当の方々を推薦していただき、各クラス10名程度を推薦して頂いて、町の方から意向調査をしまして上がって来ましたのが13名ということです。今年は13名でかなり多い方です。例年は5名とかで、その方々に他の方を推薦して頂いております。はじめのスタートは学校経由で推薦して頂いております。

委員長) 13名の互選で実行委員長を決めているのですか。

生涯学習課長) そのとおりです。

清田委員) ボランティアのようなことになりますが、やる方は大変だと思います。あれだけ立派に皆さん運営されるには、緊張されてやっているのだと思います。敬意を称したいと思います。

委員長) 今回は昭和生まれの最後の成人式になりますか。

生涯学習課長) 昭和64年の1月まで昭和生まれになりますので、次の成人式までが昭和生まれになります。

報告事項第3号 第54回大磯一周駅伝大会について

生涯学習課長) 報告事項第3号第54回大磯一周駅伝大会の開催について、報告いたします。資料の1ページ、大会要項、式次第をご覧ください。

本件につきましては、今年度で第54回を迎え、開催日時は、平成20年1月20日、日曜日、午前9時をスタートとしております。また、開会式を8時20分、閉会式を正午に予定しております。主催につきましては、大磯町と大磯町教育委員会で、主管については、第54回大磯一周駅伝大会運営委員会が運営等を行うことになっております。協力団体につきましては、大磯警察署以下、記載のとおりでございます。コースにつきましては、昨年度と同じコースで、大磯運動公園多目的グラウンドをスタート、ゴールとし、中継所6箇所の第1区から第7区までの総距離22.55kmとなります。

なお、現段階での出場チームにつきましては、地区9チーム、団体16チーム、計25チームの参加が予定されており、昨年度より3チーム減っております。以上でございます。

(質疑応答)

澤委員) 大磯全体を回るコースというのが中々大変だと聞いておりますが、今回もまた大磯全体を一周できる状況だということですか。

生涯学習課長) 警察の方から一号線を使って欲しくないという申し出があるのですが、町としては従来からやっている大磯一周を一号線をメインとして走らないと名前のとおりの一週駅伝とならないので、警察の方にも協力いただいて、今回についてもこのコースで実施したいと思います。

原田委員) 参加チームはトータルで25チーム。地区チームが9チーム、団体が16チームということで25チーム。去年が28チームということで3チーム

減になっておりますが、地区のチームが減になったのですか。それとも団体が減になったのでしょうか。

生涯学習課長) 地区は昨年8チームでしたので、1チーム増えています。団体の方が減になっているということです。地区のチーム名につきましては、北下町、国府新宿、中丸、馬場がA・B、寺坂、台町、石神台、生沢で、石神台が増えたということです。

原田委員) 地区チームは年齢層が幅広く、60才代とか50才代の後半の方々もランナーで走られています。そういうことを考えると医療体制とか、そういう面の緊急体制の整備も必要かと思えます。一方一般参加チームについては年齢層が高校生とか或いは20才代とかというようでもバランスがとれていますので、そういう中で一般チームが4チーム減というのは痛いですね。できれば地区チーム同様増えればいいですね。

委員長) 1チームは10名ですか。

生涯学習課長) 1チームは11名です。監督1名、選手7名、補欠3名以内になります。

原田委員) 去年は大磯高校チームとかが出ていたように記憶しておりますが、企業のチームが減っているということですか。

生涯学習課長) 団体については、さくら組AとB、大磯中学校の野球クラブが3チームでA・B・C、中南信用金庫、磯中ランナーズ、大磯消防署、大磯中学校のサッカーがA・B、それと地区の団体として生沢鷹取RC、ここは昨年優勝したチームです。それと大磯高校の陸上競技部と陸上クラブ、東海大学の大磯病院がA・Bで、あと大磯高校のラグビー部が参加いたします。

委員長) 中学校のスポーツクラブのサッカーと野球部が積極的に出てきているのですね。

清田委員) 30回大会位まで10年ほど走らせてもらったのですが、団体の方もそうでしょうが、地区の場合、地区のためにやるかということで参加するのが多いと思いますが、永く続けるためにはある程度おり合っかからなければいけないと思います。なにしろ事故があっては何にもなりませんから、安全を優先にしてスポーツ振興を図って、是非続ける方向でやっていただけたらと思います。地区によっては一生懸命やっているところもありますが、できればどの地区でもチームが出ていただいた方がいいと思います。地区の事情もあるでしょうから、できるだけチーム数を広げるような形でやっていただけたらと思います。

委員長) 今回も盛大に町内一周駅伝大会が良い天候に恵まれて行われればいいと思います。

報告事項第4号 国府小・中学校生沢分校訪問について

教育指導担当主幹) 1月の国府小・中学校生沢分校学校訪問につきまして、ご説明させていただきます。

プリントの資料をご覧ください。今回の国府小・中学校生沢分校学校訪問

の趣旨は、授業、施設、設備等を参観し、さらに職員との懇談を通して、生沢分校の直面する問題点を把握し、教育行政への反映と充実に役立てるものでございます。

日時は1月23日水曜日、教育委員会定例会後、13時10分から16時5分で、日程は資料のとおりでございます。授業参観後の懇談では、石塚委員長にごあいさつをお願いいたします。懇談の最後は清田委員長職務代理者をお願いいたします。

なお、生沢分校の今年度の研究主題は、「児童、生徒一人ひとりに基礎、基本の定着を図るための学習活動の展開、全校一斉教科（オール）の学習に取り組む時間の設定を通して」となっております。懇談の時間の中で、話題としていただけたらと考えております。以上でございます。

（質疑応答）

原田委員) 2点ほど質問させていただきます。先般生沢プールが来年度から休止になり、代替のプールをこちらの方をお願いしたらどうかというのが案としてあると思いますが、場所等を確認しておきたいということで、併せて見せて頂くことは可能かどうかということと、この授業参観にあたっては「全学級公開、オール英語」となっておりますが、皆さんが英語でのやり取りをやっているところを参観するという事なのでしょうか。

学校教育課長) プールの件については、1案としておおいそ学園の方にもお願いしているわけですが、プールはおおいそ学園を入りますと入口の左側でございますので、車の中からでもご覧になれますし、車を止めて確認できるかと思えます。

教育指導担当主幹) 生沢分校の特徴として「オール」という教科がございまして、これは全教員が全児童生徒に対して同一の教科を指導するという事です。今回は英語ですけれども、それ以外の教科もやっております。基礎的なことの復習ですとか、そういう形になると思えます。

教育長) 補足させていただきますが、生沢分校の児童生徒につきましては、例えば中学2年生の数学ですが、必ずしも中学2年のところを学習するというふうにはならない場合がございます。個々それぞれが、ある子は小学校程度の学習も必要ですし、色々個人差がありますので、学年クラス、全体で授業を進めるということは難しい。国語にしても算数・数学にしても英語にしてもそういうことで学年を取り外して、その子の学習の習熟状況によって、それぞれ個別に個に応じた対応をしていきたいと思いますというのが「オール」という教科の趣旨でございます。ですから中学1年生・2年生・3年生バラバラで、その子の程度に応じた学習を進めるということですので、今回は英語をそういう段階でやるということでございます。

委員長) 1年生から3年生まで同じ教室に集まるのですか。

教育長) 大きい教室で幾つか分かれるグループとか、別の教室でやるとか、色々な形態でやっております。

委員長) 私共が質問したりするときには、英語でなくても構わないのですか。

原田委員) 私が先程質問させていただいた件は、日本語を一切使わないで、英語のみで授

業をし、児童生徒も英語で質問をするような授業かと思いましたが質問させて頂きました。

教育長) もう少し具体的に申し上げますと、例えばアルファベットがまだ完全に読んだり書いたりできない子どもであれば、学年に関係なくそこを学習しましょう。またb e動詞そういうものがまだ十分に身につけていない子どもがいれば学年に関係なくそこを学習しましょう。d o動詞等少し難しいものが身につけていない子どもであれば、そこをきちんとやりましょうということです。中学1年生だからこれをやる。2年生だからこれをやるということではありません。英語の授業ですので、当然英語は飛び交っていると思いますが、日本語も十分飛び交っておりますので、そういう「オール」という教科の考え方について、学校訪問して頂いて、そこを是非ご覧いただければと思います。

澤委員) 英語以外にも、殆どの科目をこの「オール方式」でやっているのですか。

教育長) 国語、算数・数学など、本当に基礎の基礎となる教科ですので、それは勿論ですが、あと理科、社会、英語についてやっております。美術等についてはないと思います。主要の教科については、その子の習熟度に応じて指導しているという状況です。

澤委員) それは今年度からですか。最近からですか、それともずっと前からやっているのですか。

教育長) 生沢分校が開校して5年が終ろうとしているわけですがけれども、3年目からスタートしていると思います。ちょうど3年間経っていると記憶しております。

その他

教育次長) 次回開催の平成19年度第10回については、1月23日、水曜日、時間は9時30分、場所は大磯町役場4階第1会議室で行います。また午後から生沢分校の学校訪問を実施いたします。平成19年度の第11回につきましては、2月20日、水曜日9時30分、郷土資料館研修室で行います。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成 20 年 1 月 23 日

委 員 長 _____

委員長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____